

2025 Environmental Report 環境レポート

対象：2025.4~2026.3

私たちは、関わる全ての人の笑顔を繋ぐ、三方良し
のモノづくりで優しい社会の発展に貢献します



本レポートについて



Our approach to environmental responsibility

当社は、ECOアクション21などの外部認証は取得して
おりません。

その代わりに、日々の製造活動や職場改善の中で実際
に行っている環境への取り組みを、数字と実例で「見える
形」でまとめています。

このレポートは、認証取得を目的としたものではなく、
私たちが「何を大切にモノづくりをしているか」
を伝えるための報告書となっています。



ご挨拶



株式会社オーミヤは、1958年に設立され、設立以来、人のライフラインと言われる水に関わる製品の開発、製造をしてきました。

現在も、「ライフライン」に関わるモノづくりという基礎は変わりませんが、地球温暖化による災害、高齢化社会でいかに働きやすい職場を実現するか、という今まさに変化している社会に対して、必要とされる新しい価値の商品開発、製造をしています。どれだけ社会が変化しても、人が生きていく限り「ライフライン」は必要です。生活をする上で欠かせない「ライフライン」に関わる商材を扱うメーカーとして、品質管理を第一に、今後も時代の変化を感じ、時代が求める「在って良かった」と言われるモノづくりを行っていきます。

また働く仲間にとって多くの時間を過ごす会社だからこそ、ひとりひとりが仕事にやりがいを持てる、また成長ができる東大阪一働きやすい会社を目指して運営していきます。

お客様、仕入先様、従業員、関わる方に喜んでいただける企業創りを行うために、たゆみない努力を今後も重ねて参ります。

どうぞ今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

株式会社 オーミヤ
代表取締役 道野 弘樹



株式会社オーミヤの歩み



1958年1月 株式会社 近江屋として設立

1968年4月 日本工業規格(JIS)工場となる

1978年6月 日本水道協会検査工場となる

1984年1月 業容拡大に伴い「株式会社 オーミヤ」に改称

1998年6月 関東地区サービス拡大の為「関東オフィス」開設

2001年10月 永澤金属を合併し、大阪府東住吉区に住吉工場(農機事業部)を開設

2003年10月 関東営業所を埼玉県新座市に移転

2003年10月 ISO9001認証取得(本社工場)

2005年7月 業容拡大に伴い住吉工場を大阪府住之江区に移転

2009年10月 関東地区サービス拡大の為、榊山下商會を合併

2010年9月 本社工場と住吉工場を統合し、東大阪市水走の新工場へ移転

2010年10月 管材事業部/農機事業部として業務展開を図る

2011年9月 大阪府により経営革新計画承認

2015年4月 管材事業部と農機事業部を一つに統合

2015年8月 関東営業所を東京都豊島区に移転、東京営業所として開設

2017年9月 東京営業所を東京都江東区に移転

2018年2月 大阪府ものづくり優良企業賞2017 優良企業賞を受賞

2019年3月 資本資金を3000万円に増資

2020年6月 業容拡大に伴い、東大阪水走(みずはい)の事業用地(920㎡)を購入

2021年3月 健康経営優良法人2021に認定

2021年10月 令和3年度 経営革新計画承認企業に認定

2021年12月 配送業務集約の為、東京外部倉庫を閉鎖

2023年5月 第二社屋カラフルファクトリーを開設

2023年8月 株式会社 三木商會を合併、三木商會カンパニー事業部を開設

2024年3月 健康経営優良法人2024に認定

2024年11月 三木商會カンパニーISO9001認証登録



1984年当時



2001年



2010年



2017年



2023年



~現在

環境方針



地球に優しい、100年先の未来にも誇れるものづくり、ひとづくりを行う。

1. 環境のことを考えられる人づくりの為、社員教育を実施する。
2. 資源の循環を理解し、リサイクルを徹底する。
3. 地球環境に優しいものづくりの為、不良を削減する。
4. 不要なエネルギーを削減する為、日々継続的に環境システムを改善する。

制定：2019年4月1日

株式会社 オーミヤ
代表取締役 道野 弘樹

概要

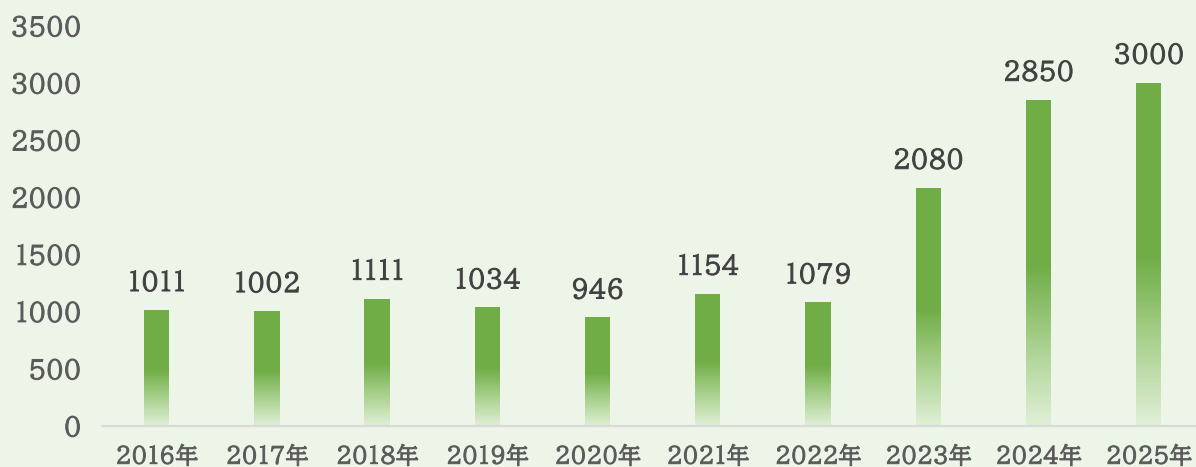


事業所名	株式会社 オーミヤ	
代表者	代表取締役	道野 弘樹
事業所	オーミヤ本社・工場	大阪府 東大阪市 水走 3-5-10
	三木商会カンパニー カラフルファクトリー	大阪府 東大阪市 水走 3-5-26
	東京営業所	東京都 豊島区 池袋本町 4-29-5
連絡先	本社	TEL:072-962-3661 FAX:072-964-0227
	三木商会カンパニー	TEL:072-962-8000 FAX:072-962-8666
	カラフルファクトリー	TEL:072-968-8772
	東京営業所	TEL:03-6907-2010 FAX:03-6907-2011
環境管理責任者 及び連絡先	DX総務部長 出貝 圭美	e-mail tdegai@ohmiya.co.jp
担当 及び連絡先	MONOクリエイト本部 品質管理 三澄 信之	e-mail nmisumi@ohmiya.co.jp
ホームページ	http://ohmiya.co.jp	
事業内容	水道配管継手、農業用資材ならびに各種ワーキングウェアの製造販売 非鉄金属材料の販売および非鉄金属原材料の回収	
企業コンセプト	衣食住の総合メーカー	
事業規模	資本金:30,000千円(2019年3月増資) 従業員:50名(2025年4月現在)	

■財務ハイライト

■売上高

単位:百万円



2023年~三木商会カンパニーの売上を含んでいます。

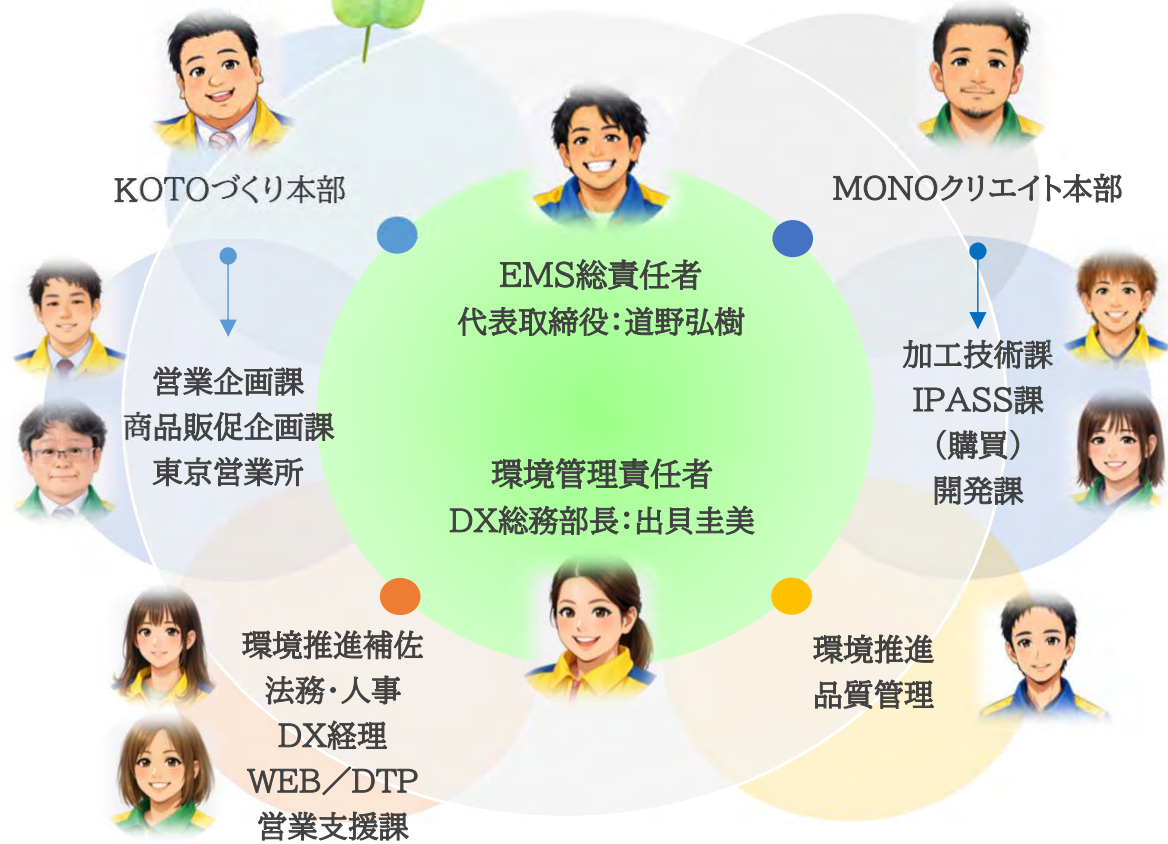
アクセス



【電車でお越しの場合】	御案内
オーミヤ本社	*近鉄けいはんな線(地下鉄中央線直通)吉田駅徒歩約7分
三木商会カンパニー	*近鉄けいはんな線(地下鉄中央線直通)吉田駅徒歩約10分
東京営業所	*東部東上線 下板橋駅徒歩約5分 北池袋駅徒歩約7分
	*JR埼京線 板橋駅徒歩約7分
【車でお越しの場合】	御案内
オーミヤ本社	*阪神高速13号 東大阪線 中野出口約5分
三木商会カンパニー	*阪神高速13号 東大阪線 中野出口約6分
東京営業所	*首都高速5号池袋線 北池袋出口約8分



環境経営組織



役割	責任と権限
EMS総責任者 本部長	<ul style="list-style-type: none"> * 環境方針の策定と全従業員への通知 * 環境管理責任者の任命 * 運用に必要な人材、設備、費用、時間の準備 * 全体の取り組みの評価と見直し(環境システムのレビュー)
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> * 環境活動の取り組み結果を社長へ報告 * 一般的な教育の計画と実施
環境推進補佐 環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> * 環境活動の取り組み結果や進捗情報をHP上への掲載や社内通達を行う * 一般的な教育の計画の立案や環境管理責任者のフォローを行う * 環境データの集計と取りまとめ * 環境関連の文書作成と記録 * 外部からの環境に関する苦情や要望の受付と対応 * 環境活動実績把握
本部長	<ul style="list-style-type: none"> * 自部門の環境活動の管理を行う
各課員	<ul style="list-style-type: none"> * 環境方針の理解と環境に対する取り組みの重要性を認識する * 決められた事を守って、積極的に環境活動への参加を行う

オーミヤとSDGs【一覧】



☆:重点SDGs



項目/SDGs	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13
年次有給取得率向上						☆				
CO2排出量削減 「電力使用量削減」					●			●	●	●
CO2排出量削減 「ガソリン消費量削減」					●				●	●
産業廃棄物の削減									●	●
製品不良率の削減									☆	☆
在庫回転率の向上									●	
紙の使用量削減									☆	
水の使用量削減									●	
5s活動						☆			☆	
資格支援制度		●								
物資回収					●					
就業支援事業提携						●				
リサイクル「切粉」									●	
Eco検定資格推進										●
職場の環境づくり			●							





環境目標

- 環境方針を踏まえ、2023年に新たに目標を設定、以後毎年1%減で算出。
- 二酸化炭素排出係数:0.415kg-CO2/kWh

目標項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	100,000	99,000	98,010	97,029	96,059
電力使用量	KWH	200,000	198,000	196,020	194,059	192,119
ガソリン消費量	ℓ	9,016	8,926	8,837	8,748	8,661
産業廃棄物	t	9.07	8.98	8.89	8.80	8.71
製品不良数	個	2180	2160	2140	2120	2100
水使用量	m ³	600	594	588	582	576
紙の使用量	枚	100,000	99,000	98,010	97,030	96,060

環境活動計画

目標項目	活動項目	具体的な主な取り組み内容	担当部署
二酸化炭素排出量	電力消費量削減	メガソーラー(太陽光パネル)設置	全社
		エアコン設定温度(冷房27℃ 暖房21℃)	DX総務部
		不要照明の消灯・残業削減(工場)	全社
	ガソリン消費量削減	アイドリングストップ。急発進・急停止の禁止	営業
納品・配達ルートの検討・営業エリアの再考		営業	
産業廃棄物	資材消費量削減	コピー用紙両面使用・封筒の再利用	DX総務
	リサイクルの有効活用	運送パレット・ダンボールや新聞紙の再利用	製造部
製品不良率	不良削減(ゼロ目標)	製作刃物の耐久性を検証し、破損予防 材質特性を把握し製作内容を変更	加工技術
在庫回転率	回転率1.0を目指す	在庫状態を日々把握しながら、在庫金額削減	IPASS課
水使用量	使用に関する社内啓蒙	手洗い・トイレ使用時の節水	全社
紙の購入量	使用に関する社内啓蒙	購入量25%減を目標に掲げ実施	DX総務

環境活動結果 ①



■ 対象：二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン消費量、産業廃棄物

目標項目	単位	2025年	2025年	
		目標	結果	目標達成度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	98,010	89,883	👍
総電力量	KWH	196,020	183,484	👍
ガソリン消費量	ℓ	8,837	5,831	👍
産業廃棄物	t	8.89	8.68	👍
製品加工不良数	個	2,140	1,337	👍
水使用量（三木商会含む）	m ³	588	526	👍
紙の購入量（三木商会含む）	枚	98,010	57,500	👍

※総電力量は受電キュービクル監査「関西電力デマンドサービス」より算出

※二酸化炭素排出係数：0.415 kg-CO₂/KWh「2025関西電力排出係数」

※二酸化炭素排出量：工場へのソーラーパネル設置効果が大きい。

※ガソリン消費量は大阪府平均170.5円を基準に算出「2025.4~2026.3」

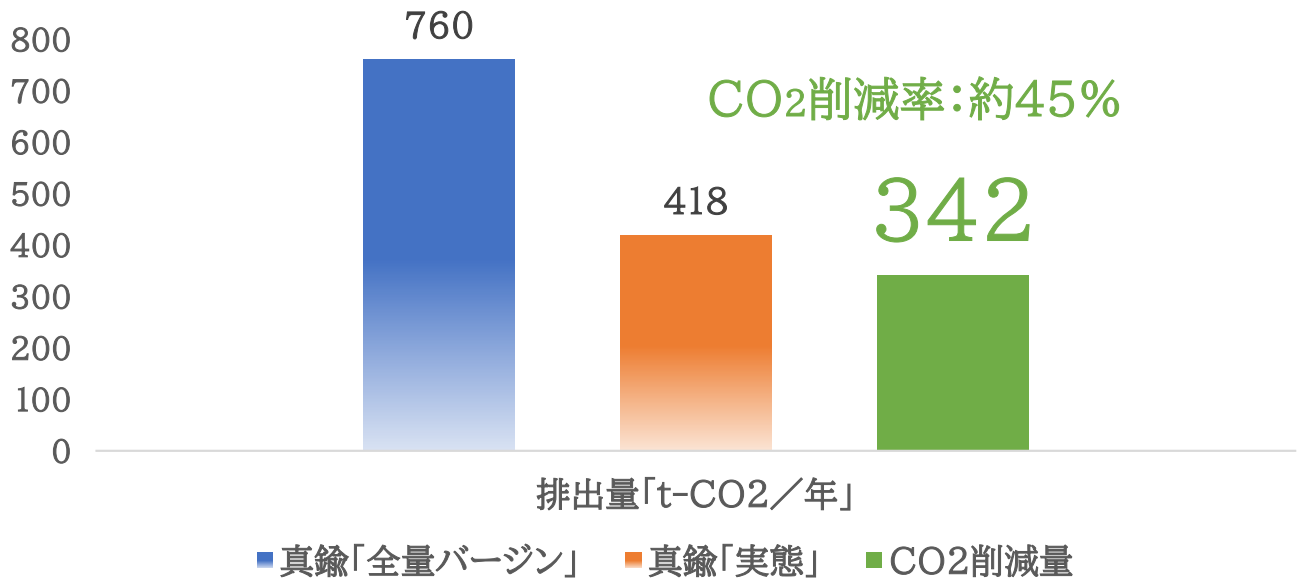


環境活動結果 ②



■ 材料仕入に関する排出「対象:2025年4月~2026年3月」 参考値:排出係数はIDEA LCAデータベース

真鍮材料の調達におけるCO₂排出量比較と削減効果



*当社は、材料調達においてCO₂排出係数の低いリサイクル可能な材料で製作を行っています。

項目	仕入重量[t]	排出係数 [t-CO ₂ / t]	排出量 [t-CO ₂ / 年]	リサイクル率	備考
真鍮「全量バージンと仮定した場合」	190.0	4.0	760.0		比較数値
真鍮「リサイクル材」	114.0	1.0	114.0	60%	実態
真鍮「バージン材」	76.0	4.0	304.0	40%	実態

本算定は、Scope3「カテゴリ1:購入した製品・サービス」に該当し、原材料調達段階における排出量を対象としています。

当社では主要材料である真鍮において、リサイクル材の使用比率が高く、材料調達段階での大きな脱炭素効果を表す事が可能となっている。結果、全量バージン材と比較して約45%のCO₂排出削減効果を試算しています。

今後は他材料についても同様の算定・開示を進めていく。



脱炭素への取り組み



■ 削減効果「2023~導入」

太陽光パネル設置により、経済効果とCO2削減効果の両方を実現

【年間】

発電量合計 [MWh/year]	自家消費量 [MWh/year]	余剰電力量 [MWh/year]	需要合計 [MWh/year]	太陽光カバー率 (太陽光からの電力/需要合計)
111	79	32	300	26%

221223~231205 実績
118MWh



経済効果

- 2.5円/kWh x 79MWh = 19.7万円
→初期投資ゼロなので費用対効果は無限大

環境貢献

- CO₂削減効果 ... 48 t-CO₂/year*
- カーボンニュートラル比率 (111MWh/300MWh) = 37%

※環境省 令和5年度版調整後CO2排出係数 関西電力：0.434 (t-CO₂/MWh) より算出

・デマンド

昨年 107kW vs 今年 88kW (2023年10月現在)

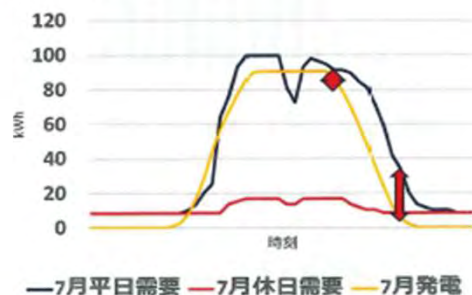
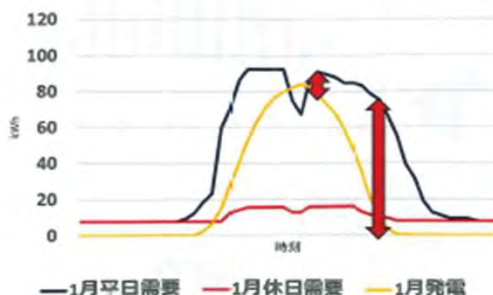
・経済メリット

(107kW - 88kW = 19kW) × 2,043円/kW・月 = 3.88万円/月
年間46万円

モデル・ティでんき自家消費1kWhあたりの単価に換算すると

6.2円/kWh (年間推定自家消費量79,070kWhより算出)

デマンド削減イメージ



脱炭素への取り組み



- 大阪府脱炭素宣言参加
「2020年のCO2排出量を基準に、2030年13.1%削減を目指す」

府知事 様

宣言日(西暦)

住所又は所在地	大阪府 東大阪市 水走 3-5-10
番号又は名称	株式会社 オーミヤ
代表者氏名	遠野 弘樹 (押印)

脱炭素経営宣言登録申請書

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、以下の項目を実践して、
脱炭素経営に取り組むことを宣言します。

脱炭素経営に向けた宣言項目について
①～⑨の全項目及び任意項目⑩～⑫のうち5項目以上を選択して「○」を入れてください。

番号	選択	宣言内容		
①	<input type="radio"/>	従業員とともに脱炭素経営に率先して取り組みます		
②	<input type="radio"/>	脱炭素化に向けた推進体制(担当者、社内勉強会の実施等)を整備します		
③	<input type="radio"/>	宣言に関する取組状況調査のほか、府の脱炭素経営促進施策に協力します		
④	<input type="radio"/>	府や各種機関が開催するセミナーに参加するなど、脱炭素に関する情報収集に取り組みます		
⑤	<input type="radio"/>	日常的に脱炭素化を意識して、照明の消灯、空調等の適切な運用管理など、省エネに取り組みます		
⑥	<input type="radio"/>	日常的に脱炭素化を意識して、マイボトルの利用、3Rの実践など、省資源に取り組みます		
⑦	<input type="radio"/>	再生エネルギーの活用(再生エネルギーの購入、太陽光発電設備の設置等)に取り組みます		
⑧	<input type="radio"/>	環境性能の良い設備機器(照明・空調設備等)への更新に取り組みます		
⑨	<input type="radio"/>	社用車への電動車(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車)の導入に取り組みます		
⑩	<input type="radio"/>	CO ₂ 排出量の少ないものなど、環境に配慮した物品・商品の調達に取り組みます		
⑪	<input type="radio"/>	自社のエネルギー使用量等の把握・管理を行い、CO ₂ 排出量の算定に取り組みます		
⑫	<input type="radio"/>	CO ₂ 削減余地を把握するための、省エネ診断の受診に取り組みます		
⑬	<input type="radio"/>	自社のCO ₂ 排出量の削減目標を設定します <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: none;">※可能であれば目標を記載してください</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2030年度目標: 2020年度比 13.1%削減</td> </tr> </table>	※可能であれば目標を記載してください	2030年度目標: 2020年度比 13.1%削減
※可能であれば目標を記載してください				
2030年度目標: 2020年度比 13.1%削減				

エネルギー総使用量及び温室効果ガス総排出量		基準年度(2020)年度		目標年度(2030)年度	
区分					
エネルギー総使用量		2,748.0	G J		
油換算量		84.8	k L		
業務に伴う温室効果ガス排出量		121.7	t-CO ₂	105.7	t-CO ₂
レジットなどの個別調達等(電力契約に含む分は対象外)を活用した温室効果ガス排出削減量			t-CO ₂		t-CO ₂
国府CO ₂ 森林吸収量・木材固定量認証制度における森林吸収量					
国府CO ₂ 森林吸収量・木材固定量認証制度における木材固定量					
温室効果ガス総排出量		121.7	t-CO ₂	105.7	t-CO ₂
削減率(削減率ベース)	温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値の算定方法を記載する場合は記入				
削減率(削減率ベース)	名称および単位	13.1%		単位()	

事業活動に係る気候変動の緩和及び気候変動への適応並びに電気の需要の最適化のための対策
削減目標の達成への取組について

30年度までに基準年度比13.1%の温室効果ガス排出量削減を目標とする。
この目標達成に向け、社内に環境経営推進体制を構築し、代表取締役を統括責任者としてDX総務部長およびMONOクリエイト本部を推進委員とする環境経営組織を設置する。
環境組織において、取組方針および目標を設定するとともに、エネルギー使用量や環境取組の進捗状況を定期的に共有・管理し、温室効果ガス排出量の削減に継続的に取り組む。



労働環境改善

■ 工場一階空調設備導入

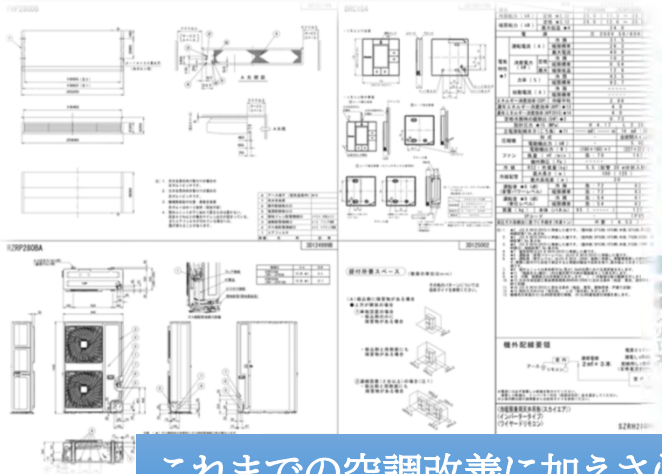
項目	7月														8月				
	日	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4
スケジュール	月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
キュービクル停電工事																			
下地工事																			
電気工事																			
空調工事																			
テスト工事																			
高所作業車2台設置期間																			
納入準備																			
設置工事準備																			
室内使用通行																			
稼働																			
騒音																			
臭気・煙																			
埃																			



■ 夏場35℃を超える現場が26℃の快適現場へ様変わり



更に！



標準ペア	P40形 (1.5馬力標準)		P45形 (1.8馬力標準)		P50形 (2.2馬力標準)	
	標準200V	三相200V	標準200V	三相200V	標準200V	三相200V
(標準) UVストリーマ除菌シリーズ ミニストリス	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット S-ラウンドフロア (標準) タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット スタイルジョイント (標準) タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット エコダブルフロー (標準) タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井自在形 ワンダ風流 (標準) タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット シングルフロー (標準) タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井高形 (標準) ストリーマ除菌シリーズ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
壁掛け型	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット ビルトイン型タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込ダクト形 ストリーマ除菌シリーズ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込ダクト形 標準タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込ダクト形 標準タイプ	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○
天井埋込カセット形	ワイヤード	○	ワイヤード	○	ワイヤード	○

これまでの空調改善に加えさらなる快適性とエネルギー効率の向上を目指し、高効率空調設備の導入を計画



安全活動



- トラック運転の急加速や急ブレーキ監視の為、スマートドライブを導入



急操作や速度超過などのデータを集め、可視化



デバイスを設置するだけで、走行データや動態データを自動で取得・保存

ご利用用途に合わせて最適な車載器を組み合わせてご利用いただくことができ、同じ指標で運転状況を把握・確認することができます



- 歩行者やドライバーの安全を守る事を前提にした活動。



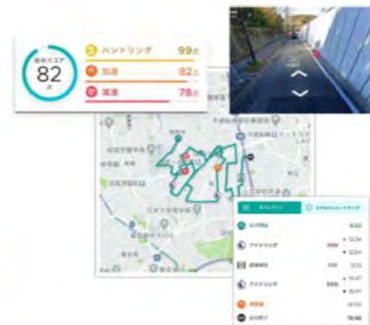
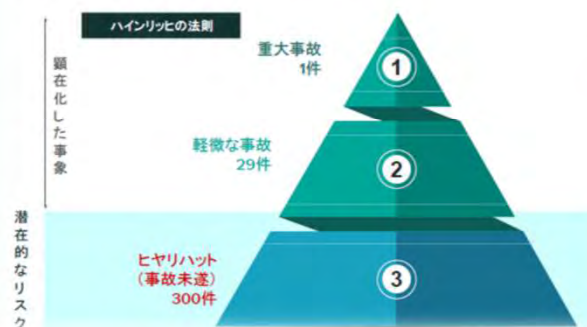
事故を減らすには急操作回数を改善

「ヒヤリハット(急操作)」のような潜在的なリスクを可視化することが重要

SmartDrive Fleetではドライバーの安全運転度合いを100点満点のスコアで算出し、改善活動に活かすことが可能です。急操作の行われた場所はストリートビューで状況を確認し、ドライバーとのコミュニケーションに活用することができます。

ハイリソヒの法則とは:

労働災害における経験則の1つ。1件の大きな事故の裏には、29件の軽微な事故、そして300件のヒヤリハットがあるとされている。



ものづくり



■ 当社では環境に配慮した銅合金を削って製品を作るものづくりを実践しています。

❖ 材料に含まれる4wt%以下の鉛が規制対象外(RoHs対応)となっています。

項目	砲金RoHs対応材 化学成分:wt(%)						
element 成分	Cu	Sn	Pb	Zn	Fe	Ni	P
Spec	84.5	4.0	0.3	4.0	0.3	1.0	0.5
規格	90.0	6.0	max	8.0	max	max	max
Lot No. 溶解番号	86.52	4.23	0.06	7.64	0.03	0.16	0.08

※鉛(Pb)の含有量max0.3(%)に対し、含有量0.06(%)の砲金材を使用し製作

❖ カドミウムを75ppm以下に抑える事でヨーロッパで施行されているRoHs(電子・電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限)に対応しています。

❖ 国内の主な各メーカーも環境規制値として75ppm以下を推奨されています。

項目	真鍮RoHs対応材 化学成分:wt(%)						ppm
element 成分	Cu	Pb	Fe	Sn	P+Ni	Zn	Cd
Spec	59.0	1.0	0.8	2.3	0.01	残部	75
規格	64.0	4.0	max	max	1.9		max
Lot No. 溶解番号	62	2.54	0.08	0.26	0.17	Rem	18

※Cd(カドミウム)の含有量max75ppmに対し18ppmの真鍮材を使用し製作



ものづくり



- 農家さんの「らく」と環境へのやさしさを両立。生分解シート「NINJAマルチ」をリリース。

OHMIYA
農業用生分解性マルチシート
NINJA マルチ
「拙者、お求めやすい価格 農業を楽にするでござる」
何か評判 ええみたいです。 NINJA マルチ SNS
5 サイズ展開
幅 95 ~ 150cm
95cm、110cm、120cm、135cm、150cm
PE袋付き

✖ 片付けナシ ✖ 雑草抑制
✖ 地温調整 ✖ 肥料流出防止

MS-64BK200/MS-110BK200/MS-120BK200/
MS-135BK200/MS-150BK200

- マルチシートをピンっと固定！専用押さえピン「ピンピンピンカサナール」もリリース。



資格支援



■ 当社は支援制度を設け従業員の資格の取得を応援しています。

取得資格	等級	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
★ ビジネス実務マナー検定	2	5名	5名	4名	3名	2名
★ ビジネス実務マナー検定	3	1名	1名	1名	1名	1名
★ ビジネス文章技能	2	4名	5名	4名	4名	3名
★ 秘書検定	2	5名	5名	4名	3名	5名
★ 日商簿記検定	2	1名	1名	1名	1名	1名
	3	2名	2名	3名	1名	1名
★ 日商プログラミング検定	—	1名	1名	2名	2名	5名
★ MOS検定「word」	—	2名	2名	4名	3名	2名
★ MOS検定「excel」	スペシャリスト	—	1名	6名	4名	7名
★ QC検定	3	3名	3名	3名	3名	3名
★ Eco検定	—	14名	21名	19名	16名	16名
★ ガス溶接	—	11名	11名	11名	11名	11名
★ 玉掛け	—	6名	6名	8名	8名	8名
★ クレーン	—	6名	6名	8名	8名	8名
★ フォークリフト	—	13名	14名	14名	15名	15名
★ 第一種衛生管理者	—	1名	1名	1名	1名	1名
★ 色彩検定	3	1名	2名	1名	1名	2名



支援活動



■ 微力ながら社会への支援活動を継続しています。

◆日本ユニセフを通じ義援金の寄付




2015年より継続し寄付を行っています。

◆使い捨てカイロの収集に協力



使用済みの使い捨てカイロで世界の水を綺麗にするプロジェクトに賛同しています。

※Go Greenへ寄付致しました。

 hungerfree.net

◆ハンガーフリーワールドを通じ寄付



飢餓に直面する人々の自立支援を行っています。

◆ペットボトルの回収と収集



ワクチンを必要とする方々や医療機器や輸送費に役立てられています。

✿世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付致しました。

◆今年も近所の小学校5年生が当社へ社会見学に来てくれました(^_-)☆



地域との交流



■ 工場へ行こう「イベント参加」 11/14~15



◆地域の方々に普段は見る事が出来ない当社の活動を知ってもらう機会を得るために2024年から参加し、2025年度も参加しました。
テーマ:工場の音を感じてもらう



作っている製品や機械の紹介しながらの見学をしてもらって、オーミヤファームで収穫した野菜販売と体験型ワークショップを行いながら楽しみました(^_-)☆



コミュニケーション



■ 社員同士で様々な交流を行い社内の活性化を推進しています。

◆ 暑い夏の中、頑張っている皆さんの英気を養う為、納涼会開催 😊



◆ 金属を削るだけじゃなく、オーミヤファーム（畑）で野菜作ってます 🌱



職場の改善

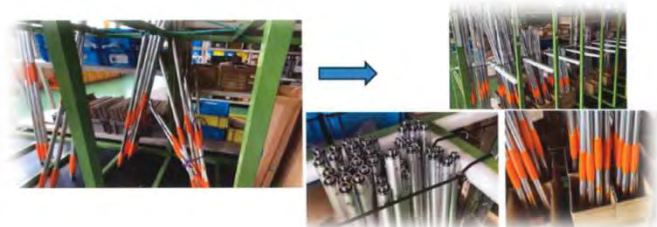


■ 日々、現場の改善活動を行っています。

◆働く人の負荷を軽減する為に、ITの導入を進めています。



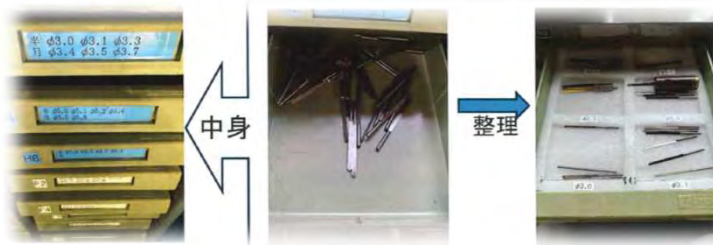
◆現場の改善も日々進めています('ω')



長尺物の置き方改善



治工具の改善



ドリル置き場の改善



事務用品の整理



環境関連法規の順守



- 当社は環境関連の規則を遵守しています。

◆法的義務がある主な環境関連法規

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
産業物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
騒音規制法	コンプレッサー
振動規制法	NC旋盤、コンプレッサー
水質汚濁法	機械油の保管
下水道法	使用書
消防法「危険物」	危険物の保管(届け出基準以下)
フロン排出抑制法	空調機
顧客要求事項	品質管理

◆違反・訴訟等

当社では、環境関連法規およびその他の要求事項について、定期的に確認・評価を行っています。

評価の結果、当社に適用される環境関連法規は適切に遵守されていることを確認しました。また、関係機関からの指摘や訴訟はなく、外部および地域からの環境に関する苦情・要請等もありませんでした。

株式会社 オーミヤ
環境管理責任者 出貝圭美



環境活動結果の評価レビュー



振り返りと次年度に向けて

◆振り返り:第69期(2026年3月期)の総括
今期は特に、冬場の電力デマンド対策を重点的に推進しました。

前年(2025年3月期)は、工場内の暖房設備の使用により2月に電力使用量がピークを迎えていました。この課題に対し、暖房設備の使用状況や工場の開放箇所を徹底的に見直した結果、電力使用量を前年比30%削減することに成功しました。また、三木商会カンパニーにおいては、下期より自動倉庫の設備停止件数の可視化と対策を実施しました。当初、月平均13件発生していた停止件数を6件へと半減させたことで、設備復旧に関わる不要な電力消費を抑制しています。一方で、30℃以上の真夏日が7月から10月まで長期化する傾向にあり、夏場の電力消費抑制が喫緊の課題となっています。ペーパーレス化については、前年比10%以上の削減を達成しておりますが、現状の延長線上では削減幅が鈍化することも予想されます。今後はさらなるDXの推進により、抜本的な業務効率化と環境負荷低減を両立させる必要があります。

◆次年度(第70期)の展望

次年度は、さらなる「ペーパーレス化」「電力の最適化」「移動のクリーン化」に取り組みます。

1. ペーパーレス化の加速

前期、三木商会カンパニーで成果を上げた「スマートフォン端末を活用した棚卸システム」を、オーミヤMONOクリエイト本部にも展開いたします。Google フォームやスプレッドシート、ローカルサーバー上のExcel自動更新機能を連携させ、紙を一切使用しないデジタル完結型の棚卸体制を構築します。

2. 電力使用量の平準化

年間で2番目に電力使用量が多い「9月」のデマンド抑制を最優先事項とします。当社は太陽光発電を導入しておりますが、9月は日照時間の減少に加え、高温による空調負荷が増大します。

そこで、比較的機械稼働の少ない7・8月に、相場リスクを考慮しつつも、10～11月の管材シーズンに向けた先行生産を実施いたします。生産時期を前倒しすることで9月の負荷を分散させ、電力のピークカットを図ります。効果が薄い場合には、第71期以降のサマータイム導入も視野に入れ、柔軟に検討を進めます。

3. クリーンモビリティへの転換

現在、普及が進んでいる「生分解性マルチシート」の営業活動において、車両による移動距離が増加傾向にあります。将来的にはプラグインハイブリッド車(PHV)の導入、およびそれに伴う高速充電設備の整備を検討し、営業活動における脱炭素化を推進します。